

漫ろ

うちのとうちゃん となりのパパ

原案/作曲 うそまこと

台本/作詞 田中つとむ

出演/漫ろ劇団ツムトコマ

漫ろ(そぞろ)とは
漫画、漫才、漫談…などの漫。
辞書には思いがけない、いい
加減、気の向くまま…などの
意味。漫ろ歩き、漫ろ心、漫ろ
歌など載っている。

2023年、田中つとむとうそまことが70歳のときに設立。それま
でほとんど一緒に芝居を作ったことはなかったが、ふたりの師
匠は、演出家の関幸雄氏であることから、基本的な演劇志向
はすぐ一致した。

うそまことプロフィール

田中つとむプロフィール

「幼児のころから小児喘息のため病弱で無口。
小学校もいじめられっ子で休みがち、
暗黒時代が続いた」

相撲取りになりたくて、中三の時、
二子山部屋に面接に行くが身長が足らず断られ
「オレの人生終わったな」と思う

1953年東京生まれ。
中学のときに落語に目覚め、高校3年間はオチケン→落語研究
会、大学で人形劇サークルに入るが、大学は中退し、人形劇団
むすび座に入団。その後1989年に、げきだんはてなを設立。
お芝居、人形劇、コンサート、あご芸、けん玉ショーなどをこなす
ライブパフォーマー。

1953年東京生まれ。
1972年に劇団風の子に入団。24歳の時「2+3」という作品を
作る為、千葉県の幼稚園に、園児として3ヶ月半入園体験。役
者、演出、多数の脚本を執筆。
2022年福島県で「田中つとむのてんでてこ座」設立。はめ絵芝居
「黄金の実」は1360回を越え続演中。児童演劇職人を自認。

お芝居の流れ

●まずは **ふたりのおしゃべり** から

→最近の出来事やら子どものころの話…その日の雰囲気、調子で何が飛び出すか…???

●それからふたりのダンス「**コッキコキ**」楽しく踊ります。

●いよいよお芝居の始まりは

→ **それぞれシングルファーザーの**  **鈴木さんと**  **田中さん。**

そして **ふたりの一人息子、小学三年生の**  **タカシと**  **ユウジの物語。**

魚屋の鈴木家の隣に田中家親子が越してきて、タカシのクラスにユウジが転校してきた。

かあちゃんとママがいないふたりはやがて打ち解け、ある日トンガリ山探険を決行。

 「ここから見えるトンガリ山は本物じゃなくて裏トンガリなんだ」  「裏トンガリ?」

 「本物はもっととんがってる!」  「本物のトンガリ山見たい!」

「よし、トンガリ山探険隊」   「しゅっぱーつ!!」

果たしてふたりは何を発見するのか……?!

とうちゃんとはパパは役者(人間)が、タカシとユウジは人形で演じます。

ここまで約1時間。
時間があれば15~20分の目安で
アフタートークを設けます。
感想やら質問、楽しい時間です。

2025年6月7日(土) 開演 18:30 会場 勝間田会館

げきだんはてなプロデュース作品 「うちのとうちゃん となりのパパ」

チケット 1500円 4歳~大人 (入会の場合、家族人数により割引有り)

定員70名 主催 榛南おやこ劇場 (みらい子育てネット牧之原 加盟サークル)

問い合わせ・申込み 事務局 e-mail / TEL 09051042888 または フォームより→

